

2013年12月26日

日本空港ビルディング株式会社

羽田空港 国内線 第2旅客ターミナル 3階

**「ディスカバリーミュージアム」 第12回企画展について**

日本空港ビルディング株式会社は、第2旅客ターミナル「ディスカバリーミュージアム」※1において、2013年12月27日（金）より第12回企画展「禅・仙厓 ZEN・せんがい」を開催致します。

仙厓義梵（せんがいぎぼん）（1750-1837）は、江戸時代後期の禅僧です。美濃に生まれ、厳しい修行と行脚の末、日本最古の禅寺、聖福寺しょうふくじの住職にまでなりました。職を離れてからは庶民の傍に生き、「博多の仙厓さん」と慕われました。「厓画無法」と自らが謳う多くの書画は禅の教えを伝えるだけにとどまらず、観る者に問いかけ、ユーモアや優しさを感じさせます。仙厓の書画やゆかりの茶杓・茶碗ちやしやくを前後期合わせて30点展示致します。作品と対峙、問答し、禅のこころをディスカバリー（発見）してください。

## 記

1. 次回企画展 「禅・仙厓 ZEN・せんがい」（入場無料）

2. 期 間 【前期】2013年12月27日（金）～2月2日（日）  
【後期】2014年2月4日（火）～3月9日（日）

※前期・後期では、一部の作品の展示替えを行います。

※2014年2月3日（月）は展示替えのため休館致します。

※期間中、毎週水曜日（14:00～、16:00～）にギャラリートークを実施予定。

## 3. ディスカバリーミュージアム概要

(1) 場 所 第2旅客ターミナル3階

(2) 開館時間 平日 11:00～18:30（最終入場18:00）  
土日祝日 10:00～18:30（最終入場18:00）

(3) 電話番号 03-6428-8735

(4) ホームページ <http://www.discovery-museum.com>

※1 第2旅客ターミナル3階南端にある日本初の空港内美術館。

永青文庫※2の常設企画展として2010年10月に開設しました。

※2 700年の歴史を持つ細川家の至宝を管理し、国宝8点、重要文化財31点をふくむ、およそ6,000点の美術工芸品と50,000点以上にのぼる歴史文書を所蔵している美術館。



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

日本空港ビルディング株式会社 運営本部 施設部 広告・イベント課

電話 (03) 5757-8520 (9:00～17:30) ※土日祝日除く

## 【主要作品】



けんすおしょう  
蛻子和尚

中国・唐時代末の僧である蛻子和尚は、日々一枚の衣をまとい、夜は神廟の紙銭の中で寝ていました。本来殺生を禁じられている僧でありながら、川蝦や蛻を捕っては食して暮らしたことからその名で呼ばれるようになりました。



ほていしげつ  
布袋指月

布袋は中国・唐時代末に実在したと言われる伝説的な禅僧です。福々しい容貌に袋を担ぐ姿が特徴で、仙厓が好んで描いた画題のひとつです。月が「悟り」指が「經典」を表し、經典は悟りを導く手段でしかないとの意があるとされています。



とら  
虎

画賛には挑戦的に「猫か虎か当ててみろ」とあります。ほとんどの方が「猫」と答えるのではないのでしょうか。当時の日本では実際に虎を写生する事は出来ず、猫や先人の描いた虎の画を見本に描くことが一般的でありました。



だいく  
大黒

大黒は食の恵みや財運を司る七福神の一人で、米俵の上に乗る姿で描かれるのも特徴です。「持ち米が二俵を切ったらどんなに高い値を付けられたとしても売ってはだめだ」と大黒の笑顔に似つかわしくない言葉が記されています。



ちゃしゃくめいはく  
茶杓銘不白

うんかくちやわん  
雲鶴茶碗

仙厓は深く茶の湯に親しんだと伝えられています。茶杓は仙厓自ら削り出したもの、茶碗は朝鮮から伝来したものとされています。どちらも住持を務めた聖福寺に伝えられていたものです。



かんざんじつとく  
寒山拾得

寒山と拾得は中国・唐時代の伝説上の人物で、寒山は文殊菩薩、拾得は普賢菩薩の生まれ変わりであると伝えられ、超俗の象徴となりました。多くの絵画の主題となり、寒山は詩を書いた巻物、拾得は蓐を持った姿で描かれます。